

# 仙台市教員プレゼミナール

共に踏み出すはじめの一步 ~あなたを待っている  
子供たちがいる~

第5回 「教えて先輩！」

令和6年1月31日(水)発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

## 先輩の先生に学ぶ ~聞くことをためらわない~

令和6年1月27日(土)に79名が出席し第5回目のプレゼミナールを行いました。今回のプレゼミナールは、教職2・3年目の先生とグループディスカッションをしたり、教務主任の先生に4月の学校の動きについて説明してもらったりなど、4月からの学校での仕事に見通しを持つ大切さについて学ぶ機会となりました。プレゼミナールの登録者総数は120名となりました。

### 1「先輩教員とのグループディスカッション」

小学校は3グループ、中学校は2グループ、そして高等学校に分かれ、教職経験2・3年目の先生方を囲んでグループディスカッションを行いました。受講者からは、4月までに準備しておいた方がよいものや勤務するにあたっての心構えなどの質問がありました。先輩からは質問の一つ一つに細やかに答えていただき、学校の実際の様子を学ぶ時間になりました。



### 2「校務の実際」

4月からの学校現場で実際に聞く言葉や、毎日利用するパソコンの使い方など、授業以外の校務について学びました。3月末の「赴任までのスケジュール」や「校務分掌」の意味を知り、4月から実際に使う「校務支援システム」「在校時間管理システム」なども、具体的な使い方などを含めて学ぶことができました。



### 3「学校の動き」

現在仙台市内の小学校及び中学校で教務主任をしている主幹教諭から、赴任してからの一週間の学校の動き、始業式・入学式からの一週間、4月の予定、一年間の主な行事などについて、実際に学校で使っている「週予定表」や「年間の行事予定」を見ながら学びました。教務の先生からは、年度初めの細かいスケジュールを実際の学校での様子も含めて丁寧に説明していただき、見通しを持ちながら仕事をする事、分からないときは周りの人に聞くことをためらわないことが大切であることを確認しました。



## <受講者の声>



○現場の先生方のお話を聞いて、漠然とした不安が具体的な今自分がすべきことになりました！不安のドキドキが強い日々を過ごしていたのですが、楽しみのドキドキワクワクになりました。具体的に今日から赴任まで、そして4月からの話を聞くことが出来てよかったです。計画立てて残りの大学生活を過ごしたいと思います。毎週のようにプレゼミナールを開いてくださり、また貴重なお話を頂きありがとうございます！来週もたのしみです。

○実際に現場で働いている先生方の話を聞き、4月からの動き方のイメージを具体的に持つことができました。今回のプレゼミナールを通してやはりわからないことがあるときは、ためらわず先生に聞くべきだと感じました。特に授業準備などが不安でしたが、たくさんの授業見学を通して自分の授業の型を確立していったという先輩の話聞き、自分もそのように頑張ろうと思いました。今日まで不安なことがたくさんありましたが、今回で不安が楽しみに変わりました。

○今現在4月から先生になることへの不安が多いのですが、現役の先生の話聞いて、少し和らぎました。先生になるまでかなり準備物が多くやることも多いのかと思っていましたが、今だからできること（旅行など）をして充実した日々を送るようにしたいと思います。4月から先生になった際は、分からないことを分からないということや積極的に質問することが大事だということを教えて頂いたので、しっかりやりたいと思います。学校の動きのところでは、先生になったらタスク管理が重要になるなと感じました。自分なりに大事なところにマーカーを引いたりリマインダーをつくらしたりして管理できるようにしたいと思います。今日はとても良いお話を聞いて勉強になりました。

○本日も貴重な機会を頂き、ありがとうございました。赴任してから、そして赴任する前は不安が沢山で何をしたら良いか分からない事だらけであった中で、先輩教員の方々のお話を聞いて本当に良かったです。特に、勤務を始めてから心配をしていた休む時間があるのかといった不安があったのですが、休日にはしっかりとリフレッシュをしたり、長期休みには休みを取って休憩をしたりといったメリハリを付けることを意識していきたいという思いがとても強まりました。また、本日の活動で時折出てきた「お先に失礼します」という言葉を今後たくさん言えるようになりたいと感じました。教育実習の際にも質問をしたりするだけでなくより良い授業をしたいという思いから残業をしてしまうことがあり、定時よりもかなり遅くなっての退勤となってしまうことが多かったです。勤務を始めたなら、メリハリを付けて勤務したいと思います。最後に、不安とワクワクに満ちた4月が近づいてきましたが、講師として働くことになる自分でも、数少ないこのような研修の機会を大いに生かし、積極的に聞き、楽しみな4/1を迎えたいと思います。

○先輩からの話では、大変貴重な経験を聞くことができました。特に、「1年目は余裕も見通しもなくて苦しいけど、自分のなりたかった仕事についている喜びを感じていた」という話が印象に残っています。今は、4月から自分がうまくやっていけるか不安も多いが、自分の夢を実現できるという希望を持って準備をしていきたいと思いました。また、怖くて悩むよりも、やってみて失敗から学ぶことも大切だとお話ししていただき、挑戦できる人になりたいと思いました。校務全般について内容では、赴任までの流れや、4月からの校務について知ることができました。特に校務支援システムや起案など専門用語のことを知ることができました。学校の動きでは、4月からGWまでの流れを知ることができ、自分では気づかないような注意しなければいけないこと、頑張ることを確認することができ、少し見通しを持つことができました。

○実際に今学校現場で働いていらっしゃる先生方のお話が聞いてとても面白かった。特に一コマめの、2つ上の先輩先生とのお話は、とても楽しく話しやすい雰囲気だったので、自分が聞いてみたかったことを聞くことができ、とても有意義だった。新任の先生の服装や1日の時間の使い方、実際に4月にする挨拶など大学でも学んだことのないとてもリアルなお話だった。



**プレゼミナールは、3月まであと3回あります。これからでも参加申込はできます。関心を持たれた方はお申し込みください。第6回「先端ツールで魅力的な学びを創る」は、2月3日（土）開催です。**